

LORANSが問い続けたいこと

障害者雇用を、数だけの話にしない。

働く力として考える社会へ。

2026.07.01



人を咲かせる花屋として

ローランズは、東京の原宿で花屋を営む会社です。

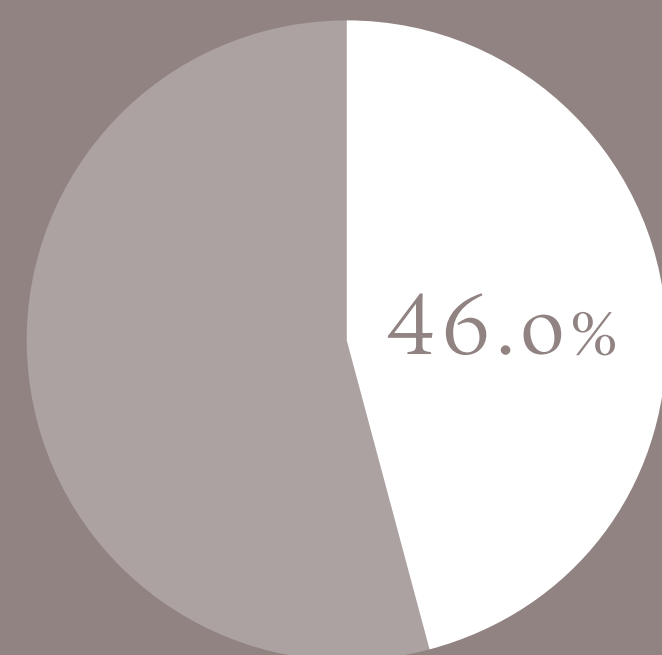
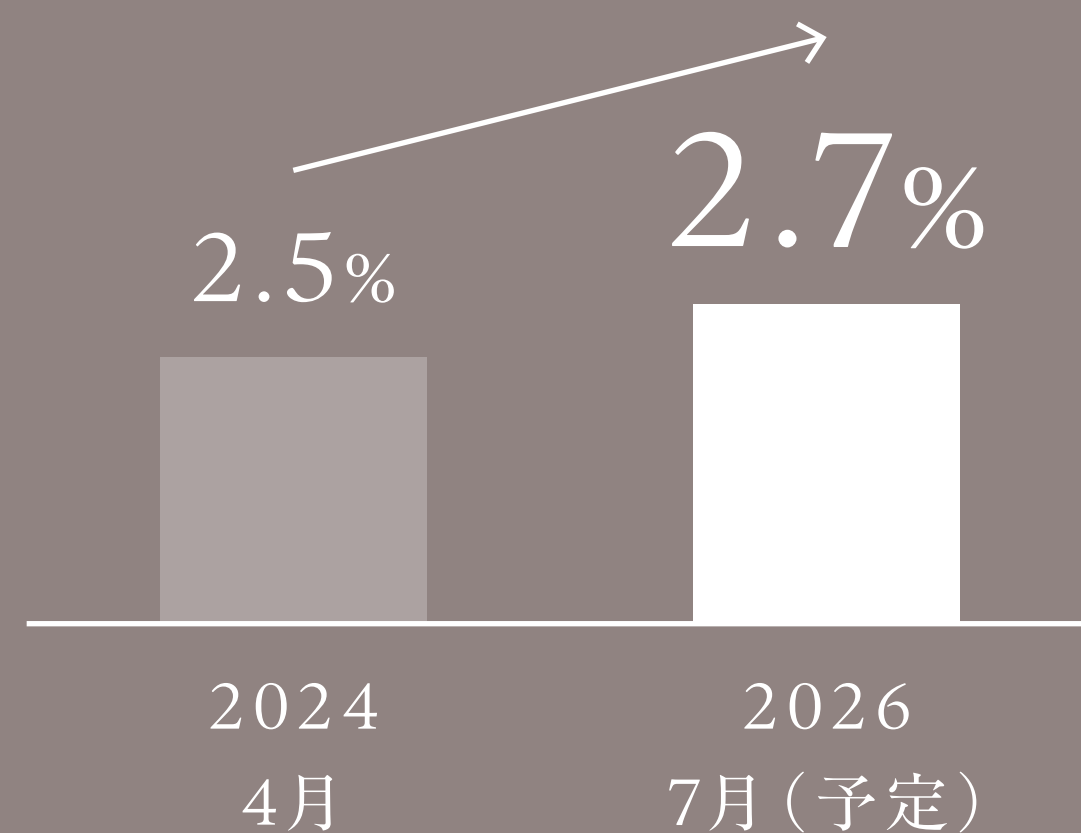
私たちの従業員のうち100名以上は、障害と向き合うメンバーです。

日々、共に花を束ね、お客様にお届けするなかで、私たちが見てきた景色があります。

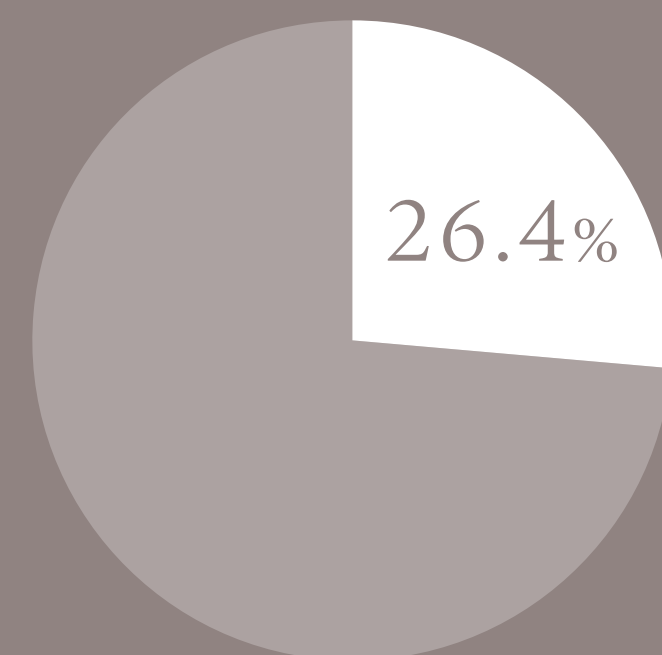
そして、社会のなかで感じてきた、ある「違和感」があります。

ここにつづる私たちの考えは、日々の実践や対話の中から生まれました。

法定雇用率



法定雇用率を
達成している企業
(全体※1)



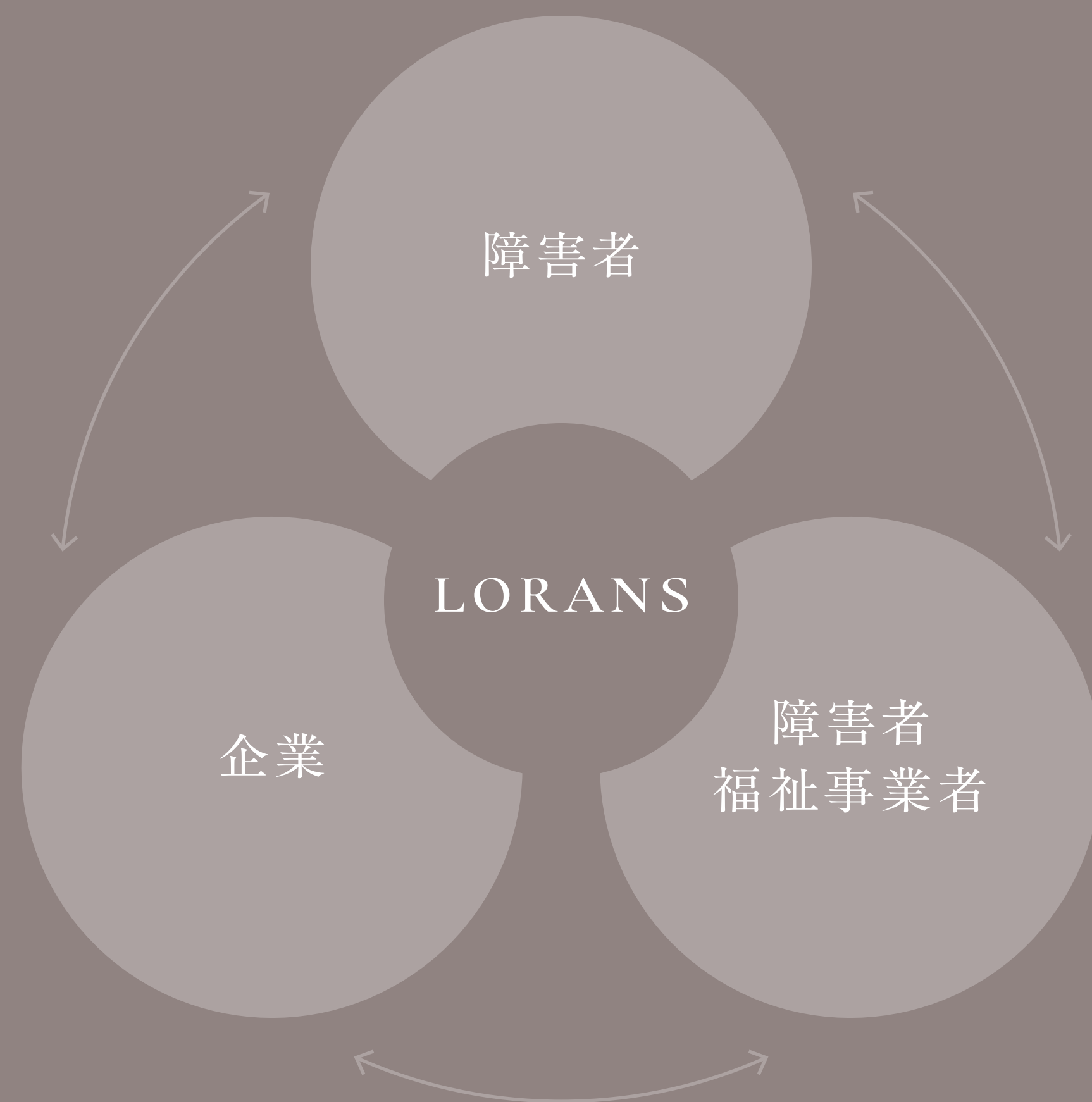
法定雇用率を
達成している企業
(従業員が100名未満の場合※2)

数字の先に、あるもの。

2026年7月1日、障害者の法定雇用率が従業員数の2.7%に引き上がります。障害者雇用促進法ができて60年以上、義務化となって50年が経ちました。現在70万人以上の当事者が働いており、雇用人数は22年連続で増加を続けています。障害者雇用に関わる人々が抱いてきた願いが、少しずつ社会に届き始めている。そのことに、私たちは大きな喜びを感じています。

しかし、法定雇用率を達成している企業は、現在46.0%※1。従業員が100名未満の企業に至っては26.4%※2という少なさです。そこには限りある経営資源の中で、雇用に着手できない課題が広がっています。

そして、同時に考えねばならないことは、数の先にある一人ひとりの働く気持ちです。数字の背景には、人の暮らしがあり、働くことへの想いがある。数字だけではなく、一人ひとりの気持ちを考えていくことが大切だと感じます。



主語を、ヒトに。

そこにいる、企業、障害者、そして障害福祉事業者。

それぞれの「役割」を、もう一度見つめ直したい。

なぜなら、それぞれが孤立し、悩みを抱えている状況だからです。

-企業は「どんな仕事を任せればいいのか」と悩み、どう寄り添い、関わればよいのか、手探りの状態にあります。

-障害者は、選べる職種の少なさに一歩踏み出せず、必要以上の配慮に戸惑い、自分の未来が描けないことに悩んでいます。

-障害福祉事業者は、一生懸命によいものを作っても、それを売る方法に悩み、障害者に良い就労訓練の機会を提供できずに悩んでいます。

それぞれが一生懸命で、頑張っていることは、間違いありません。

だからこそLORANSは、それぞれに寄り添い、それを繋ぎ、力になりたいと思うのです。

LORANSの 3つの考え

私たちが信じていること

ローランズが大切にしている、3つの考えがあります。

1. 数ではなく、人である。

「障害者」というくくりはありません。そこには、繊細で優しいSさん、手先が起用で家族想いのTさん。名前を持った、暮らしを持った、「人」がいるだけです。どんな工夫があれば、みんなと同じ、またはそれ以上に力が発揮できるのか。「あなたと働き続けるために」目の前の人を信じ、考えることから、すべては始まります。

2. 義務ではなく、働く仲間であり、戦力である。

義務や社会貢献という言葉の先に行きたい。私たちが向き合っているのは、保護の対象者ではなく、未来を共に創る「働く仲間（戦力）」である。違いを隠すのではなく、その人が持つ唯一無二の強みを活かす場所をつくること。同じ働く者として、対等に共にいること。工夫次第で、人の可能性は、もっと強く優しく、ひらかれていきます。

3. 企業と福祉の協業が、新たな選択と、前進をつくる。

企業だけでも、障害福祉だけでも、できないことがあります。企業はビジネスの力で雇用を生み出す専門性を持ち、障害福祉は支える力で働く力を育てる専門性を持っています。手を取り合えば、きっと、もっと、障害者雇用が前進するはずです。

LORANSの 3つの行動

私たちの、行動。

だから、私たちは。

就労継続支援A型事業※3を通じて100名以上の障害者を雇用し、事業を成長させています。社会貢献だからではなく、一緒に働きたいと思う仲間と、会社を強くするために、ただただ力を掛け合わせています。

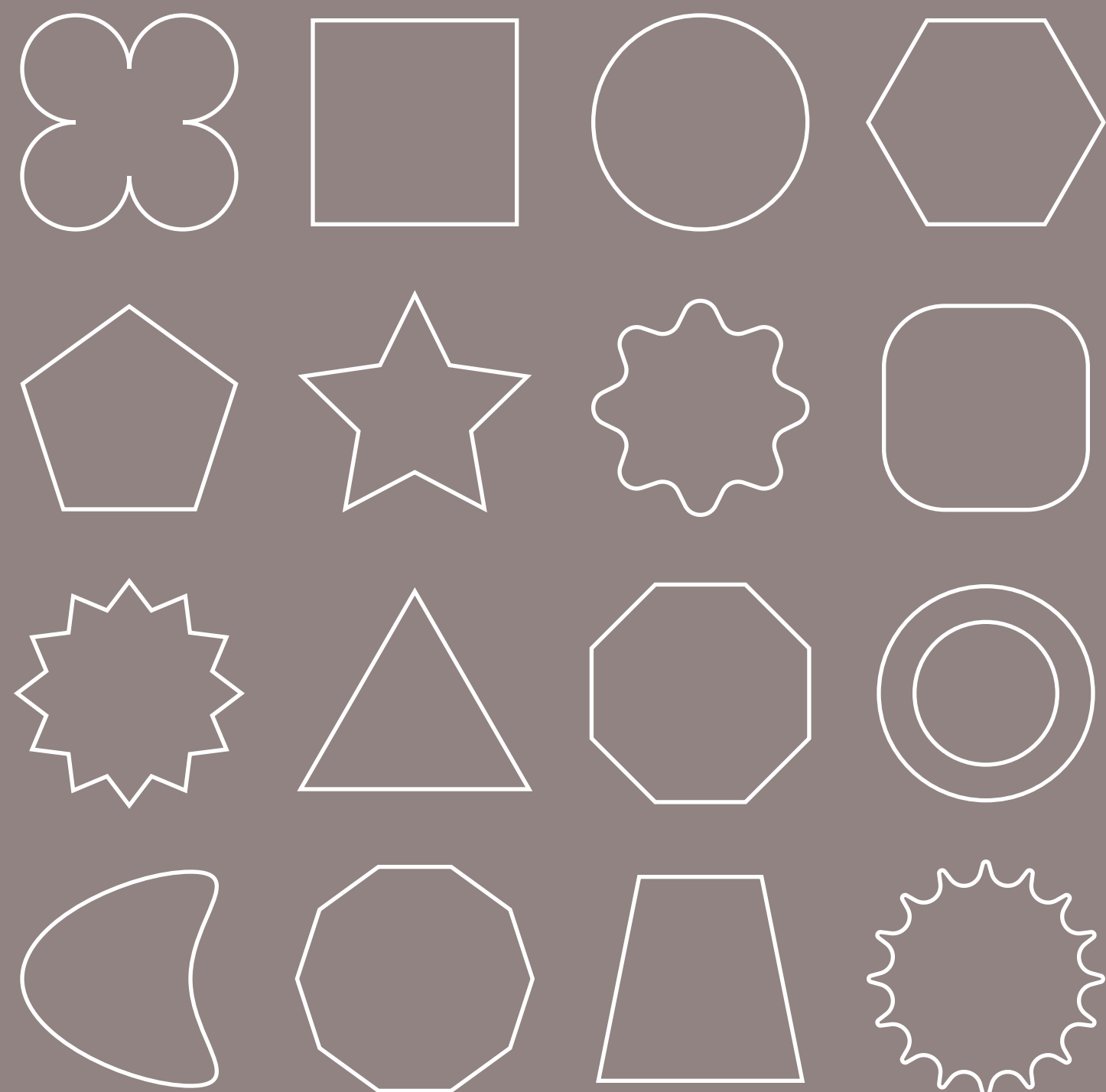
だから、私たちは。

配慮はするが、優遇はしません。対等な働く仲間だからこそ。できないことは補い合いながらも、強みを活かし、だれかのために働く喜びを感じる仕事を創造していきます。花屋でそれができたように。

だから、私たちは。

企業と障害福祉事業者をつなぎ、障害者の共同雇用を運営しています。一社では抱えきれない課題もそれぞれの専門性をもった両者が共に取り組むことで、障害者雇用を諦める数を減らせると信じています。様々な選択肢を創ります。

※3 就労継続支援A型事業…就労継続支援A型事業とは、一般企業への就職はまだ難しいものの、一定の支援があれば働くことができる障害のある人を対象に、雇用契約を結んで働く機会を提供する福祉事業



障害者共同雇用という選択肢

「自社だけで障害者を雇用するのは難しい」

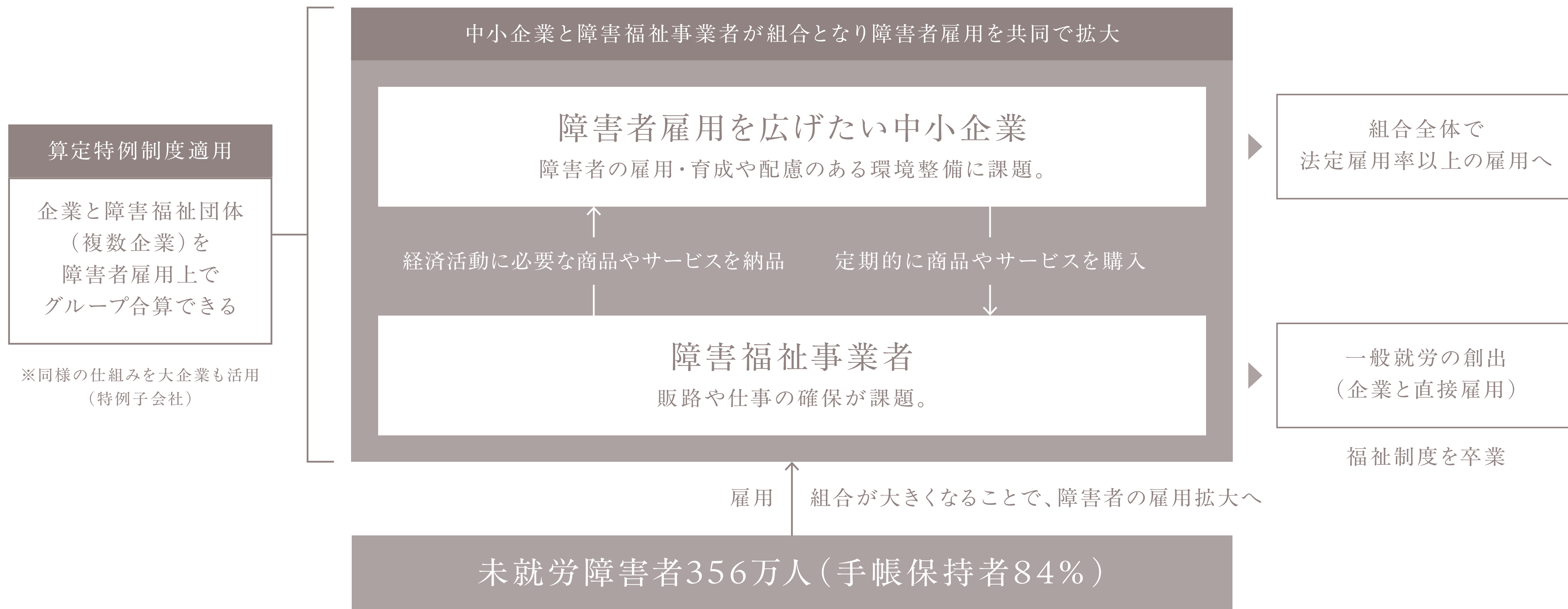
私たちは、そうした理由から障害者雇用を諦めざるを得ない中小企業を数多く見てきました。こうした中小企業のリアルな声に向き合い、行政と力を合わせて算定特例制度※4を活用した仕組みづくりをし、障害者雇用を、一社で抱えるものではなく、みんなで実現する共同雇用事業を推進しています。

現在では、20社・従業員4,053人規模の企業が参画し、219.5名の障害者雇用（実雇用率5.42%）が生まれました。

この仕組みを使えば、障害者雇用への小さな一歩を踏み出すことができます。そしてその一歩が、やがて自社での直接雇用へとつながっていきます。

ウィズダイバーシティ（障害者共同雇用）の仕組み

企業は、地域の障害福祉団体（A型事業所）から商品やサービスを購入することで、共同で雇用を創出する。



ローランズが描く景色

私たちが目指しているのは、特別な制度や、無理をした仕組みではありません。
障害の有無にかかわらず、だれかの力になれている喜びがそこにあり、自分の幸
せがそこにあり、街のあちこちにその温かな表情が灯っている景色。
どんな人も、活躍し、幸せそうに生きている世の中へ。
みんなみんなみんな咲け。
ひとつずつ、一歩ずつ、あなたと一緒に、つくっていく。

人を咲かせる花屋

LORANS

